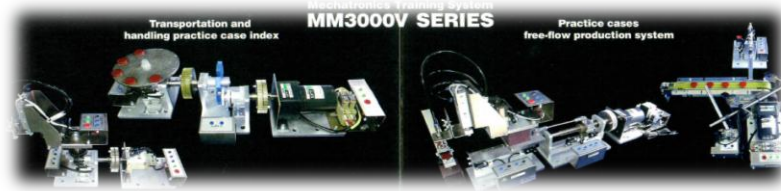


企業・サイト概要

- 提案企業:株式会社 新興技術研究所
- 提案企業所在地:東京都世田谷区
- サイト:カザフスタン・アスタナ
- 相手国実施機関:ナザルバエフ大学
- 事業実施期間:2013年7月～2014年9月



●●● カザフスタン国の開発課題 ●●●

合致

●●● 提案企業の技術・製品 ●●●

製造業の振興

2003～2015年までの産業・技術革新発展戦略においてカザフスタン政府は脱資源経済を掲げ、製造業の振興を通じて経済の多角化を目指している。特に産業の近代化を国家目標として掲げており産業自動化を推進しているが、産業自動化技術に関する技術者、教育者、教育機材も存在しておらず、自力での技術者育成が不可能な状態である。

工業分野の近代化と品質・生産性

2030年までの長期発展戦略では工業分野の近代化と品質・生産性向上が重要な課題となっている。

産業自動化教育システムMM3000Vシリーズ

- 独自性の高い自動化実習機器と自社制作の教材を組み合わせた、ハード・ソフト両面からの総合的な技術教育を一貫して提供。
- モジュール式機材による柔軟な技術の組み合わせが可能である。
- 日本のポリテク大学、工業高校、高専などで自動化実習教材として採用されており、職業訓練高校・高専の7割以上で標準教材として利用されている。

普及・実証事業の内容 (JICA事業)

- 大統領直属のナザルバエフ大学に同社製品を導入し、産業自動化技術のトレーニングセンターを設置し、同大学教職員をマスタートレーナーとして訓練。彼らを通じて将来職業訓練大学教員、政府関係者、企業技術者、同大学学生等に研修を行うことを目標にした研修を実施。
- 研修効果測定結果の集計、機材や技術の有効性と現地適合性を確認するとともに、カザフスタン内の職業訓練校、民間企業への産業自動化技術実習機材の販売を検討。

普及・実証事業の成果

- ナザルバエフ大学に「産業自動化技術のトレーニングセンター」が開設し、機材を設置し、センターを活用した産業自動化技術の基礎、中級向け研修を実施。これにより、継続した研修実施のための講師が育成でき、研修の基礎を確立できた。
- 職業訓練大学での新設産業自動化教育コースの開設準備も進み、自社機材の導入が具体的になってきた。産業新技術省はナザルバエフ大学と共同で「トレーニングセンター」での企業技術者への研修をしながら、自前のセンター設立を目指している。ここにも自社機材の導入出来る可能性が明らかとなった。

ビジネス展開

- 職業訓練大学の開設産業自動化教育コースへの機材導入。
- 産業新技術省が所管するテクノパークでのIATセンターの設立と機材導入

開発課題へのインパクト

- 中期的な産業自動化を担う人材の育成による中小企業と製造業の発展。
- 企業内人材育成を進め即戦力を養成して製造業の技術力の向上。